

水島協同病院は差額ベッド料はいただいております

みずしま協同クリニック



医師
大橋 英智

- ① 患者家族、スタッフと手を取り合い、笑顔になれる診療をしたい。在宅、施設、病院とスムーズに連携していきたい。
- ② 患者家族の希望・感情、医学的妥当性、医療経済など多角的な視点で問題対応できる筋肉質な医師。

- ③ ゴリラ
- ④ アスレチック



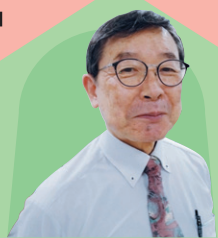
訪問診療に携わる



医師
田中 聖也

- ① 患者本人や家族の意向に沿いながら、どういった生き方をしたいかを話し合い、それに寄り添った医療を提供していきたい。
- ② 抱えている疾患の把握もしつつ、家庭環境や価値観などを理解していく医師。

- ③ 犬、ネコ
- ④ ゲーム



医師
本田 誠

- ① 患者さんの命と生活を守るため、医療の面でサポートをしていきたい。患者さんそれぞれの死生観を大事にして在宅でできるだけ叶えることを目標にしたい。
- ② 当たり前のことですが、患者さんの気持ちに寄り添って在宅で診療を継続し、出来れば最期を看取りたい。月並みながら患者さんから信頼される医師となるべく努力したい。

- ③ ネコ、犬
- ④ 映画、音楽鑑賞、お酒、酒蔵めぐり



水島協同病院

水島協同病院



—みずきょう 今日の1枚—

2025.9.27 わが街健康プロジェクト。主催第2回中高生×医療×お仕事体験Labの1コマ 検査技士による超音波検査体験

みずしま協同クリニック

糖尿病Topics

さる2021年はインスリン発見から100年でした。記念行事が行われてはいましたが、世はコロナ禍まっただけが、気がつかなかった方が多いかもしれません。

私が研修医の頃（1990年代）は、150単位カートリッジ式のインスリンでした。その後、現在の300単位カートリッジから一体型へ、超速効型・持続型などインスリンアナログ製剤も出回り始め、より便利に、より厳密に血糖値管理ができる環境が整ってきました。

今は超超速効型に続いて、週一回注射のインスリン製剤も生まれています。内服薬やインスリン以外の注射製剤にも次々に新しい物が出て、選択肢が増えました。患者さん一人ひとりの生活に「ちょうどいい」治療と一緒に探していきたいと思います。

（内科医師 永井智子）



シリーズ倉敷探訪～都羅の小径ウォーキング②～

笠取神社と旧中山家住宅を訪ねる

診療部 里見和彦



庭園もきれいにされています（旧中山家住宅）

空を見上げると秋の雲、街歩きにはよい季節です。大平山の裾にのびる都羅の小径を歩き、笠取神社と旧中山家住宅を訪ねてみませんか。笠取神社は桜の名所で有名ですが、楓やツツジが植栽され四季を通して楽しめます。神社の参道は長い石段ですが、横にはなだらかな坂道もあります。息をはずませのぼると、神社を囲む美しい回廊に着きます。境内の樹々の間から水島が一望できます。笠取神社を楽しんだ後、西に少し歩くと旧中山家住宅があります。地元出身の実業家が、母親のために建てたという大邸宅で、有形文化財にも指定されています。この庭からも水島の景色が望めます。

倉敷市ホームページ「くらしき まち歩き さと歩きマップ」はこちらのQRコードからご覧ください。

笠取神社は西浦学区に載っています ▶



回廊から水島の街並みが見えます（笠取神社）

